

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームハートピアエスト
(ユニット名)	1ユニット
所在地 (県・市町村名)	仙台市青葉区下愛子字観音9の12
記入者名 (管理者)	安藤 仁
記入日	平成 年 月 日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	入所者が参加出来る範囲内において、町内会行事での草取り、ゴミ収集などの参加や入所者と近くのスーパーへの買い物などを行っている。	町内祭り参加 保育園運動会見学
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	「ゆっくり、一緒に、楽しく」の中で一人一人のニーズに合ったグループホーム内での生活に向けて取り組んでいる。	傾聴時間を多く持ち、共感、受容に努めたい。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	ホームで行った行事を家族へ「ハートピアだより」を発行、地域でのボランティアの参加により入所者の交流、保育園児等の気軽な来訪	家族参加が年々減少、参加に努めたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	町内会合等により、認知症に対する家族内での問題などの相談を受けている。	近隣の気軽な来訪に努めたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	町内行事に参加、保育園児等の交流に努めている。	夏祭り参加 保育園運動会見学 ホームでの保育園児の合唱

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	認知症に対する家族内での問題のアドバイスや行政への手続き等の方法を説明		町内会会合等参加による認知症の説明、アドバイス、相談等、電話や来訪により相談に対応
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価により改めて自己の問題、覚知向上に努めることを再確認し、問題点が明示された各講演会への勉強会の参加		改善目標を改めて見直し、計画を立て実行している。家族からの意見、要望を取り入れて質向上に努めている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事や利用者へのサービスの説明、現在抱えている問題点などの状況報告、それぞれの意見を参加にサービス向上に努めている。		2ヶ月一回を目標に開催を予定しているがつい先延ばしが続く。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域内における認知症等の問題報告会、病院等からの疾病に対する説明の参加、事業所問題点の改善指摘をともない、利用者サービスの質の向上に努めている(市)		各研修会参加等により質、職員の向上に努めている。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	認知症低下とともに成年後見人制度の必要性が高まり、勉強会への参加や必要な入所者に対して活用している。		成年後見人制度を活用している。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に対する講演会等参加ミーティングなどにより防止策などを検討している。		徘徊等による防止策など家族説明

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者、家族、親族等同伴の上、契約説明仕資疑応答の上納得されての契約の取り交わしを図っている。	契約書を事前に渡し、疑問点などを取り交わす際、説明し納得された状況において本契約をしている。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族利用等から直接意見を聞いたり、直接意見等を言えない方には苦情箱を設け事業所運営に努めている。	玄関入口に苦情箱を設置。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「ハートピアだより」や家賃請求の中に生活状況、ホームの行事など記載。	電話等により連絡を行っている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、不満等を謙虚に受け止め、また意見箱設置において匿名記入により運営に反映できるように努めている。	第三者からの意見、苦情をホームとしての向上に反映できるようにしている。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日一回のミーティング会において運営に対する提案や疑問点の機会を作り、代表者等に改善策等の提案。	一つの提案でも実行している。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員などの身体的状況においれも重文に対応できるように求人広告に募集中 心にゆとりある介護ができるように努めている。	求人募集 緊急の場合等人材派遣
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	介護に対する一人一人の加重労働を避けるために人員的増員、質の向上に努めている。	求人募集 緊急の場合等人材派遣 離職しない職場作り。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等の受講を多く取り入れ、その内容を職員に周知している。 防災設備、訓練等が実施されていない。	地域協力のもと防災訓練を实行したい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援等の研修会に参加、各事業等での問題点など把握、ホームへの向上に努めている。	在宅サービス、医療機関関係等の研修会への参加。 他施設との情報交換。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間の話し合いを多く持ち意見、意見不満等の改善や、食事会などにより職員の親睦を深めている。	個々の悩み相談に対応
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個人介護の理念を持ち、加重労働を考慮し、人力的不足を考え求人募集を行ったり一人一人の意見を反映に努めている。	達成感に対する喜び。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	可能な限り問題解決過程に参加できるように努めている。	一人一人に対する傾聴時間を多く持つように努めている。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事務的な受付と混同しないよう務めている。 利用者の主訴を傾聴。	利用者、家族のニーズや問題が援助者施設、機関の機能で緩和できるか説明している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	援助者、施設、機関の機能での解決緩和できるか対応に努めている。		成年後見人制度必要性 他施設へ移動
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	訴える言葉のみに耳を傾けるのではなく表情や態度等観察し、利用者の状態を理解、配慮に努めている。		本人、家族からの要望を踏まえミーティングなどにより、ケアプランの見直し要望に近づく支援に努めている。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	こんな事されれば嬉しい嫌だを介護する側が常に考え共に協力、共感、受容に努めている。		研修、講習会参加等により自己覚知向上。 発表により職員全員の質の向上に努めている。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	主訴を組取り個々のケアプランを作成、家族ともに共通認識と考え信頼関係を築いている。		共感、受容を心掛け信頼関係を築く支援に努めている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人や家族からの主訴を十分に組取、家族、利用者が納得行く支援に努めている。		共感、受容の中に「できること、できない」などを十分検討し、良い介護、信頼関係を築く。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ケアに対する問題行動(身体的疾病)などない限り、ホームの来訪、外出、外泊を支援。		家族、親族での夕食、旅行、ホームでの宿泊。 家族関係の深まり。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	趣味活動、レクリエーション等によりできるだけ入所者同志のコミュニケーションに勤めている。		仲間に入れない人には介護員が中に入り利用者の関わりを深めている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他病院、施設等に移動しても、ホームがよりのお便りなどを発送している。		お便り等の郵送
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意図的表出により本人の希望など受け止めケアプランを計画、変更し、意向に近づけるように努めている。		傾聴時間が少しでも長くとれるように努めている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス利用前のフェースシートより生活状況や既往等の把握、本人、家族からの把握。		家族、本人からの既往等や医療機関ケアマネジャーよりの説明に努めている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	食事、バイタル、入浴、睡眠等身体的状態の把握や過ごし方の把握。		看護師、医療機関等により早めの予防対策に努めている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日一度のミーティング状況等の変化により介護計画を作成。		家族、本人、各機関等の話し合いにおいて介護計画などを見直し検討している。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	課題分析、ケアプランの策定、ケアプラン実施モニタリングを行っている。		家族への連絡、医療機関への連携を早めに行い介護計画を立てている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送り等により1日の行動、身体的状況記録や介護計画等を見直しに努めている。		各職員の共通認識を高めている 1日の行動などに対して(会話など)に気付く努力
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関への同行、買い物、ドライブなどできるだけ要望に近づけるように努めている。		医療機関への同行 買い物・散歩・ドライブ等
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	社会的資源の活用(ボランティア、保育園児)など協力し参加支援に努めている。		ボランティア 幼稚園・保育園児・遊戯会・運動会見学 町内夏祭り参加
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者支援向上のため地域生活での研修会や他サービスを利用、要望に努めている。		介護(認知症)に対する問題、ケア等のアドバイス 介護タクシー等の利用
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	施設内の問題解決や本人ニーズに対する解決策などについて相談している。		本人、家族の意向を十分に踏まえ長期総合的に協働して行きたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	認知症、身体状況を本人、家族に説明、医療機関連携を踏まえた介護支援に努めている。		青年後見人の活用に努めている。 親族に対する連絡、ケアプランの見直し。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>認知症専門医(神経精神科、内科)通院相談、精神保健師等に生活上のアドバイスを取り、早めの治療生活の支援に努めている。</p> <p>専門医からの医療に対する説明など詳しく家族に連絡、早めの問題解決策を職員ともに努めている。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>身体的、薬剤的影響を的確にアドバイスを受け、日常の健康管理や医療機関活用。</p> <p>薬剤師より薬に対する影響などをできる限り詳しく説明してもらうように努めている。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>日常生活の詳しいフェースシートの提出</p> <p>認知症患者に対する病院からの要望として付添いが必要説明、安心安全な治療に備えている。</p> <p>入院に対する家族への早急対応。 付添いがない時の派遣員の必要性を説明。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>延命治療をどこまでやるか、家族、医療機関と相談している。 終末期について家族、職員に説明</p> <p>緊急時対応などミーティング等により把握。 家族、医療機関への緊急連絡先記載。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>入所契約者による終末期に対する対応の説明 今後起こりうる病状、認知症の低下に備えて検討、準備を行っている。</p> <p>医療機関等詳しい説明。 家族へ急変に対応できるように早めの状況提供。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>グループホームでの生活状況や家族からの要望などフェースシートにて詳しく説明ケア、医師等十分話し合い情報交換し利用者への支援に努めている。</p> <p>施設等への移動に対して出来る限りの詳しい生活状況の提供</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いの管理。 利用者の自己決定、介護による非審判的態度をしないように自己覚知を高めている。	常に利用者の生活習慣や意思の尊重に努めている。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	共感、受容し自分でどこまでできる、わかるかを確め、最大限の残存機能を活用できるように努めている。	台所の洗い物、掃除、趣味的な行動によつての残存的機能を手助けしている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそつて支援している	利用者の人生との出会い関わりを持つことでそこに難しさと同時に奥深い喜びがあることに努めている。 忍耐強く見守り、受容、共感に努める。	介護の中で、他入居者との関係により個々のケアに対して管理してしまう方向になっているが心に「ゆとり」のある介護に努めたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	2ヶ月に一度、理容、美容者にホームに来てもらい整容に努めている。 衣類店による買物。	介護者などの服装の変化により季節感や化粧に対する趣味を示すことに努めている。 (服装のアドバイス)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事、材料等準備、皿洗い等できる範囲内での協力を頂いている。	一品でも最初から最後まで出来ることを望みたいし、協力してゆきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	身体的疾病等の管理の中で、できる限り希望の好みに答えるように努めている。 外食的機会も取り入れている。	カラオケや外食店などに出掛け好みのものを食することに努めている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄のリズムの把握、記録し、トイレ誘導(排泄が無くとも、習慣的行動) 医師、看護師への相談		食事的、水分摂取、軽運動等によりスムーズな排泄に努めている。 リハパン、オムツの使用はできるかぎり使用しないように努めている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ホームでは毎日入浴に努めている。		認知症低下等により入浴拒否があるが入浴に対する楽しみを支援してゆきたい(衛生的にも。)
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の居室があり、プライベーターを保ち休息、眠れるように支援している。		入所以前の生活と同じ環境で生活できるよう生活様式に取り組んでいる。
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味活動、興味のある事、物に対して利用者の要望にできる範囲内において答えているし、支援者と共に楽しむことに努めている。		介護職員も参加し楽しく無理なく行えること。 身体的認知症への予防に努めている(脳体操、ゲーム、etc)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人の管理能力に合わせて支援。 買物時、個人的に所持してもらい使えるように支持している。		日用品購入や理容料金等は家賃請求書において処理。 後見人、まもり一ぶに管理。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人希望を重視し、家族などの見守りの中支援している。		家族、親族同伴のもと、外出、外泊を行っている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ホーム行事の中にドライブなども行っており外出機能を作り支援している。 さくらんぼ狩り、イチゴ狩り、花見、花火大会、紅葉見学等		健康面などを考慮し、ストレス解消など出来る限り出掛ける機会を多く持つように努めている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所より電話のやり取り、手紙等は本人に手渡し気軽に連絡などできるように支援している。		家族、親族からの連絡を多くしてほしい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は午前9:00～午後17:00までとしている。宿泊もできる限りして頂いている。		連絡なしの訪問客に対しては、本人の生活上の説明や本人確認のもと行っている
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護指導の身体拘束に基き、身体拘束をしないケアに取り組んでいるマニュアル等により正しく理解している。		徘徊等、他入居者に対して過大迷惑のある場合い影響を考慮し、家族との話し合いにより派遣社員を依頼することがある
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けることの弊害を理解 安心・安全を心がけ見守りを重視し鍵を掛けないケアに取り組んでいる		防犯・及び入所者安全確保のための(防犯カメラ、ブザーの設置)
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の管理力に合わせ保管・管理 収納品倉庫・備品倉庫の設置		刃物の保管に対してはケース入れ鍵を掛け保管
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒・徘徊等など事故防止対策の勉強会を行い、事故防止に取り組んでいる		火に関しては個人の保管禁止 針・刃物等は個々の管理力に合わせて まもりーぶ・警察等への連携

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師指導のもと、初期対応訓練をしている 定期的訓練	急変や事故対策として各関連機関等の連絡先を掲示している
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難場所、初期行動はホーム内にて行っている 実際消防局、町内協力のものとの訓練は実施していない	3月に消防局、町内会連絡のもと指導、避難訓練を行う予定
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	生活状況、医療的に家族連絡を密にして自立に対しての支援に努めている	早めの状況の把握し対応に対して最小限の処置をしたい
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタル的变化、個々の申し送り等により身体的変化に努めている。看護師、医療機関に連絡を取り指示を仰ぐ。	協力か病院への連携
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の使用している薬は理解しており、薬剤変更等などは、薬ノート、医療等の連絡をしている	個々の行動記録に使用している薬の説明書を添付
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄の記録 本人からの排泄の確認 便意が無くても排泄を試みる指導	定期的な運動、早期の冷水摂取 食物繊維を多く摂取
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援 入歯洗浄、食後、就寝前の歯磨き うがい薬の飲食への見守り指導	定期的歯科検診、口腔ケア指導 うがい水にハーブティ(ミントやカモミール) レモン水を利用してのうがい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスの取れた食事の提供、水分補給の確認を把握し、支援している 咀嚼、嚥下状態を把握 医療的食事の管理、提供		外注食によるカロリー的提供 イオン水提供
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症のマニュアルにより予防、対応実行している (インフルエンザ予防接種、胃腸炎等)		ゴミ手袋使用 寝具や衣服の天日干し(タオル、バスマット共有) 感染部、汚染された衣類、器具などの接触による感染予防
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所衛生管理、(包丁、まな板、食器等) 消費、賞味期限の確認 貝、魚熱的処置 介護側健康管理、傷に対する処置		魚、貝類に対する熱処理 消費、賞味期限確認 体調などえお考慮し、食事への提供
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関等に季節感のある花などを置き、親しみやすくしている		季節ごとに廊下に花、壁には入居者が作製した物などを飾っている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下、壁等に行事の写真などを貼り、生活感、季節感を採り入れている		毎日でも生花などホームに置きたい カーテン、ブラインドなどを季節によって変更したい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室などを利用されるよう、長座布団や座りやすい椅子を用意、心快的居場所の確保		有線放送の活用

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所前の生活状況と同じ居室作りをして心地よい生活を過ごせるように支援している 衛生的管理から冷蔵庫の持ち込み禁止		使い慣れたものや好みの物品の使用
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	外、内温度差5℃以内に定め、エアコンの調整や換気に配慮している 各居室は利用者状況に応じ調整		加湿器の設置 換気、エアコンの調整
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーであり、安全確保かつ自立した生活が送れるように工夫している		身体的機能低下による安全面の改善(手すり、浴槽内)
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	出来ることは積極的に参加してもらうように促し、自立への手助を工夫している		掃除、台所手伝、雑布作り 飾り制作
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭利用で家庭菜園、花などを栽培し、楽しんだ活動を工夫している		中庭りようにより近隣の交流を深めたい バーベキュー大会など

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- 年間を通して毎月ごとにホームとしての行事をできるだけ多く取り入れている。
- 行事以外にもドライブ、外食、買物、カラオケ等日頃施設内生活によるストレスを解消しリフレッシュに努めている。
- 昨年より外注食との併用により栄養的バランスを保っている。
- 職員も大変ながら入所者の楽しみのためにも入浴は毎日しており、衛生面的支援している。